

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第42週の発生動向

### 全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 6例。3類感染症：報告なし。4類感染症：E型肝炎 1例。  
5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	-
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	女	肺結核	咳
		都城	90歳代	男	右結核性胸膜炎	症状なし
		日南	70歳代	女	肺結核	咳、痰
		日向	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
4類	E型肝炎	宮崎市	60歳代	男	-	全身倦怠感、肝機能異常、下肢掻痒感

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 677 人 (定点当たり 23.1) で、前週比 111%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【手足口病】

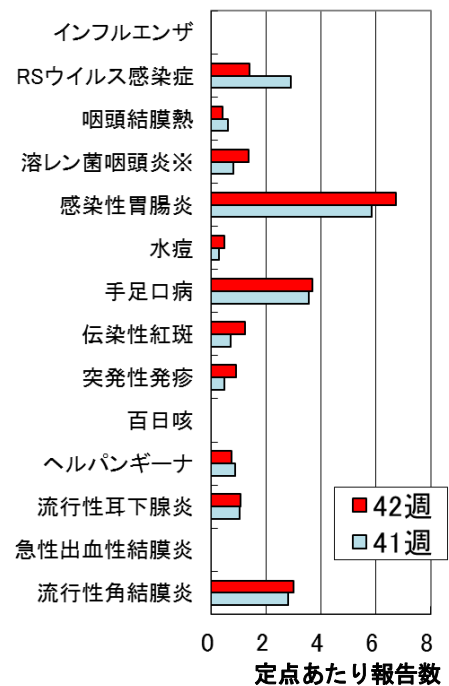
報告数は 133 人 (3.7) で、前週比 104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\* (1.8) の約 2.1 倍であった。宮崎市 (7.1)、日向 (5.0)、日南、中央 (各 4.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2 歳が全体の約 6 割を占めた。

##### 【感染性胃腸炎】

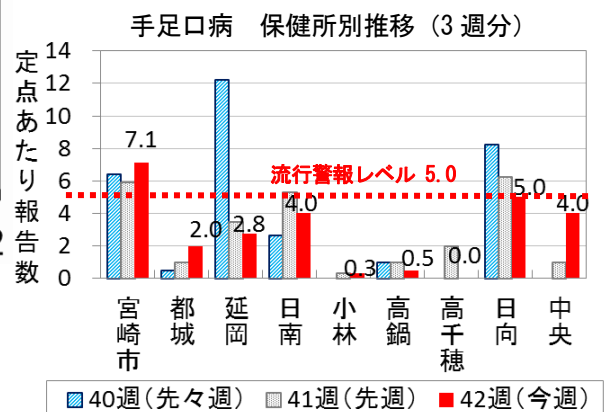
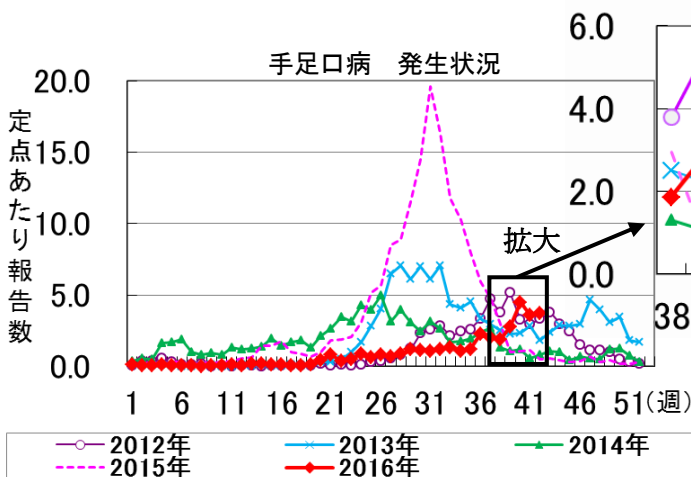
報告数は 242 人 (6.7) で、前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (7.4) の約 0.9 倍であった。小林 (15.0)、都城 (12.2)、日南 (10.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2 歳が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値

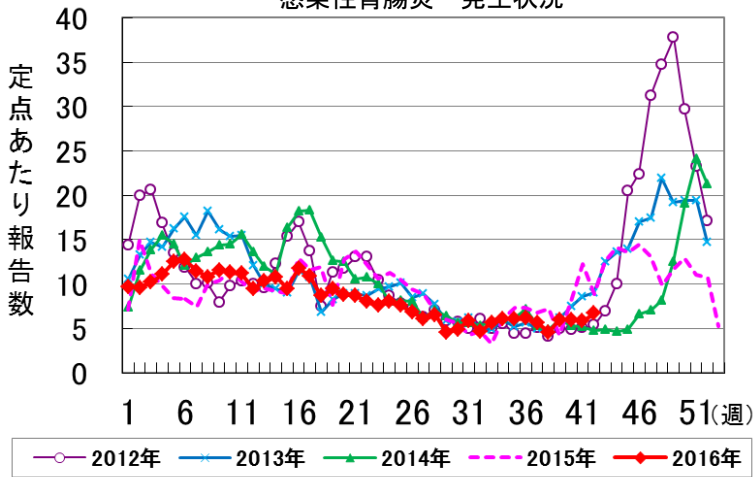
《前週との比較》



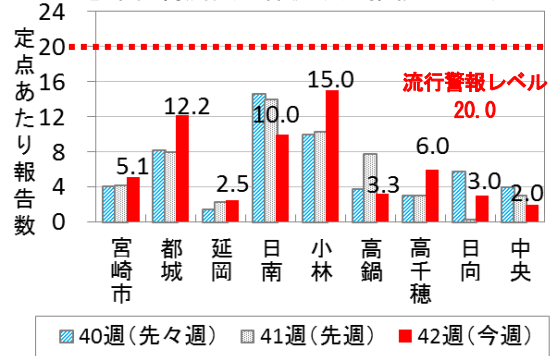
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市(11例)、延岡(2例)、高鍋、日向(各1例)保健所から報告があった。0～4歳が4例、5～9歳が4例、10歳代が7例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(7.1)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	伝染性紅斑(2.0)
高鍋	なし
高千穂	流行性耳下腺炎(5.0)
日向	手足口病(5.0)
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

\* 流行注意報レベル基準値 \*

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成 28 年 10 月 24 日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Singapore (O7,6:k:e,n,x)	5～9歳	男	2016.9.16	発熱(38.5℃)、下痢、腹痛	便	2016.9.28
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0～4歳	女	2016.10.7	発熱(39.0℃)、下痢、腹痛	便	2016.10.14
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0～4歳	女	2016.10.8	発熱(38.2℃)、血便、腹痛	便	2016.10.17
<i>Salmonella</i> Newport(O8(O6):eh:1,2)	20歳代	男	2016.10.11	-	便	2016.10.20
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	10歳代	女	2016.10.12	発熱(39.0℃)、下痢、腹痛	便	2016.10.20

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
ヘルペスウイルス6型	5～9歳	男	2016.07.19	ヘルペス口内炎、40.2℃、関節痛	咽頭ぬぐい液	2016.10.19
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	女	2016.08.26	HFMD、37.8℃、口内炎、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2016.10.17
RSウイルス	30歳代	女	2016.10.7	上気道炎(咽頭痛)、咳、頭痛、倦怠感	咽頭ぬぐい液	2016.10.12
RSウイルス	80歳代	男	2016.10.1	急性肺炎、38.1℃、頭痛、咳	喀痰	2016.10.14
RSウイルス	90歳代	女	2016.10.12	38.3℃、痰	咽頭ぬぐい液	2016.10.14

○ヘルペス口内炎と診断された男児の咽頭ぬぐい液からヘルペスウイルス6型が検出された。ヘルペスウイルス6型は乳児期における突発性発疹の原因ウイルスである。ヘルペスウイルス6型は2～3歳頃までにほとんどの乳幼児が抗体陽性となり、不顕性感染は20～40%と報告されている。初感染以降は神経系、リンパ節、唾液腺などに持続的に潜伏感染するため、咽頭ぬぐい液から遺伝子が検出された場合は病的意義は低く、既感染であることを証明するのみである。

○手足口病の幼児からコクサッキーウイルスA16型が分離された。今年は、全国的に手足口病の起因ウイルスとして、コクサッキーウイルスA6型とA4型が多く検出されているが、当所では手足口病の患者から分離されたウイルスのうち、7名中6名がコクサッキーウイルスA16型となっている。

## 🇯🇵 全国 2016 年第 41 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 41 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	280 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	54 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	4 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	11 例	日本脳炎	3 例	レジオネラ症	55 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	水痘（入院例）	5 例	梅毒	59 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	麻しん	5 例		

麻しんの報告数は 5 例で前週比 1.0 倍と横ばいであった。東京都(2 例)、千葉県、神奈川県、広島県(各 1 例)、九州地方からの報告はなかった。年齢別では 1~4 歳、10 歳代から各 2 例ずつ、20 歳代から 1 例報告があった。

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 84%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はなかった。減少した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 1,158 人(0.24)で前週比 104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.06)の約 4.0 倍であった沖縄県(7.0)、広島県(0.43)、茨城県(0.39)からの報告が多く、年齢別では 10 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2016年 第42週(10月17日～10月23日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	104	50	11	4	14	2	2		2	14	1
	定点あたり	2.89	1.39	1.10	0.67	3.50	0.67	0.67	0.00	2.00	3.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	22	15	4	5	1	2		1	1		1
	定点あたり	0.61	0.42	0.40	0.83	0.25	0.67	0.00	0.25	1.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	29	49	13	5	11	10		3		4	3
	定点あたり	0.81	1.36	1.30	0.83	2.75	3.33	0.00	0.75	0.00	1.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	210	242	51	73	10	30	45	13	6	12	2
	定点あたり	5.83	6.72	5.10	12.17	2.50	10.00	15.00	3.25	6.00	3.00	2.00
水痘	報告数	10	17	10		5			1			1
	定点あたり	0.28	0.47	1.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	128	133	71	12	11	12	1	2		20	4
	定点あたり	3.56	3.69	7.10	2.00	2.75	4.00	0.33	0.50	0.00	5.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	26	44	12	2	6	3	6	7		7	1
	定点あたり	0.72	1.22	1.20	0.33	1.50	1.00	2.00	1.75	0.00	1.75	1.00
突発性発しん	報告数	17	32	8	10	4	4	1	4		1	
	定点あたり	0.47	0.89	0.80	1.67	1.00	1.33	0.33	1.00	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	31	27	3	4	3	1	6	1		8	1
	定点あたり	0.86	0.75	0.30	0.67	0.75	0.33	2.00	0.25	0.00	2.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	37	38	7	8	4	1	2	7	5	3	1
	定点あたり	1.03	1.06	0.70	1.33	1.00	0.33	0.67	1.75	5.00	0.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	15	4	11							
	定点あたり	2.80	3.00	2.00	5.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	5	15	11		2			1		1	
	定点あたり	0.71	2.14	11.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～42週)

2類感染症	結核	175例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13例				
4類感染症	E型肝炎	3例(1)	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	つつが虫病	6例	デング熱	1例	日本紅斑熱	4例
	レジオネラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	13例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	8例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	1例				

( )内は今週届出分、再掲